

## 2005年度 事業報告書

2005年1月1日から12月31日まで

### 目次

HIOKIの理念	1
ごあいさつ	2
トピックス	3~4
連結財務諸表	5~8
個別財務諸表	9~11
会社概要/役員	12
沿革	13
株式の状況/株主メモ	14

### 株主様へのお知らせ

#### ■株主優待制度

当社では、毎年6月30日現在の株主名簿および実質株主名簿に記載された1単元（100株）以上保有の株主様に、「信州りんご」を12月上旬にお送りする株主優待制度を実施しております。

確実にお届けするために、住所変更された場合は、株主名簿の住所変更手続きをお願いいたします。



#### ■決算公告のホームページのご案内

当社の決算公告は日本経済新聞による決算公告に代えて、貸借対照表および損益計算書を当社のホームページ（<http://www.hioki.co.jp/>）に掲載しておりますので、ご参照ください。

#### ■お問い合わせ窓口


当社 総務課 TEL：0268-28-0555 MAIL：ir@hioki.co.jp

### 株主の皆さまの声を聞かせてください

当社では、株主の皆さまの声を聞かせいただくため、アンケートを実施させていただくことといたしました。お手数ではございますが、右記の方法によるアンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。

 <https://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード 6866

 携帯電話からもアクセスできます  
QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



●アンケート実施期間は、本事業報告書がお手元に到着してから約2ヶ月間（2006年5月10日まで）です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝（図書カード500円）を  
進呈させていただきます

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」

TEL:03-5777-3900

MAIL:info@e-kabunushi.com



※本アンケートは、株式会社エーツメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。（株式会社エーツメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>）

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

# HIOKIの理念

## 「人間性の尊重」と「社会への貢献」

HIOKIの企業理念は「人間性の尊重」と「社会への貢献」です。

企業が発展していくためには、社員一人ひとりの能力を最大限に発揮できる環境づくりと同時に、

良き企業市民であることが必要です。

この理念の具現化こそが企業の社会的責任であり、持続可能な社会のお役に立てるよう、

私たちはこの理念をバックボーンにすべての活動を展開しています。

株主の皆様へ

### 3期連続で過去最高の売上高・利益

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、格別のご支援、ご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、当社2005年度の事業報告書をお届けするにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

2005年度の上期は、デジタル景気の減速およびそれともなう半導体関連の設備投資抑制で、電気計測器業界の生産額は前期に比べ減少しましたが、下期に入りデジタル家電やIT製品の在庫調整も一巡し、景気は徐々に回復基調に向かいました。

このような状況下で、当社は好況がつづく自動車関連産業や環境エネルギー関連での需要拡大に注力するとともに、数多くの新製品を投入し競争力強化をはかりました。自動試験装置においては、台湾を中心としたアジア市場にベアボード検査機を拡販し、受注および売上高の確保に努めました。また、生産面では短納期、低コストを目指して生産革新運動を推進してきました。これにより、市場での競合激化にともなうベアボード検査機売価の低下、創業70周年記念事業費発生等での利益面への影響を最小限にとどめ、経営計画を達成することができました。

以上の結果、当期の連結売上高は前年同期比9.8%増の151億71百万円、経常利益は21.6%増の26億46百万円、当期純利益は28.5%増の16億96百万円となり、売上高、利益ともに3期連続で過去最高を更新いたしました。

なお、2005年は創業70周年を記念し、6月30日現在の株主様に利益還元として、普通株式1株を1.1株に分割いたしました。また、当期の利益配当につきましては、1株当たり中間配当10円、期末配当20円とし、年間30円の配当をさせていただきました。

### 付加価値生産性の向上を推進

2006年は地上デジタル放送の普及拡大、自動車関連の活況などにより引続き設備投資は堅調に推移するものと予測されます。当社は研究開発型企業として、遠隔計測、燃料電池試験、電力品質試験などの技術開発により、新エネルギー分野の開拓に注力いたします。また、自動車、電子部品関連を重点市場として、今後も開発、生産、販売・サービス体制のさらなる改善で付加価値生産性の向上を推進し、経営計画の達成に向けて全社一丸となって邁進していく所存です。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2006年3月



代表取締役社長

吉池達悦

## 吉池達悦、代表取締役社長に就任

2005年3月、1995年から社長を務めていた日置勇二が会長となり、常務の吉池達悦が代表取締役社長に就任しました。あわせて平均年齢51歳のフレッシュな新執行体制が誕生しました。

創業70周年記念  
ソリューションフェア開催

2005年6月9日・10日、「デジタル時代を拓く計測技術」をテーマにして、HIOKIソリューションフェアを恵比寿ガーデンホールで開催。1,600名の来場者を迎える盛況な展示会となりました。



盛況だったHIOKIソリューションフェア

## ソリューションファクトリー建設に着工

2005年9月13日、ソリューションファクトリー地鎮祭がおこなわれ、新工場の建設工事がスタートしました。竣工は2006年8月の予定です。



2006年8月竣工予定の新工場

## 緑化優良工場として経済産業大臣賞を受賞

工場緑化や環境向上に顕著な功績のあった企業として、日本緑化センターから「経済産業大臣賞」を受賞しました。また、都市緑化基金が制定した社会・環境貢献緑化評価システム（SEGES）で、全国11サイトの1つに選定されました。



経済産業大臣賞

社会・環境貢献緑地  
認定証

## 財団法人HIOKI奨学・緑化基金を設立

当社はこれまで、「公益信託フォレストヒルズ奨学基金」や「ふるさとの森づくり」などの地域貢献活動をおこなってきました。その活動を充実させ、さらに広範囲で奨学金の支給や植樹活動ができるようにと、「財団法人HIOKI奨学・緑化基金」を2005年9月に設立しました。



上田市立神科小学校でのふるさとの森づくり

## 製品や技術開発で各賞を受賞

3129検相器は安全性の高さが評価され「産業安全研究所理事長賞」を、また、東京電力株式会社様と共同で開発した「屋内配線診断装置の開発」により日本電気協会の「第50回澁澤賞」を受賞しました。



第50回澁澤賞



産業安全研究所理事長賞

連結貸借対照表

科目	期別	2005年 (2005年12月31日現在)	2004年 (2004年12月31日現在)
<b>(資産の部)</b>			
流動資産		8,376,312	8,520,098
現金及び預金		4,724,007	5,196,746
受取手形及び売掛金		1,979,019	1,698,347
たな卸資産		1,465,901	1,442,046
繰延税金資産		128,263	128,103
その他		80,996	55,623
貸倒引当金		△1,875	△769
固定資産		7,773,222	6,892,509
有形固定資産		6,129,054	5,550,927
建物及び構築物		2,735,615	2,885,659
機械装置及び運搬具		301,857	336,326
工具器具及び備品		680,736	769,374
土地		1,559,567	1,559,567
建設仮勘定		851,278	—
無形固定資産		369,205	187,078
ソフトウェア		366,172	184,045
電話加入権		3,032	3,032
投資その他の資産		1,274,963	1,154,503
投資有価証券		703,901	511,476
破産更生債権等		6,990	6,990
繰延税金資産		192,618	283,090
その他		378,443	359,936
貸倒引当金		△6,990	△6,990
<b>資産合計</b>		<b>16,149,535</b>	<b>15,412,607</b>

(単位：千円)

科目	期別	2005年 (2005年12月31日現在)	2004年 (2004年12月31日現在)
<b>(負債の部)</b>			
流動負債		1,617,889	1,701,685
買掛金		436,678	427,869
未払法人税等		533,341	555,483
賞与引当金		191,992	183,198
その他		455,876	535,134
固定負債		1,088,275	1,195,369
退職給付引当金		448,156	576,731
役員退職慰労引当金		470,587	463,487
その他		169,531	155,150
<b>負債合計</b>		<b>2,706,164</b>	<b>2,897,054</b>
<b>(少数株主持分)</b>			
少数株主持分		—	—
<b>(資本の部)</b>			
資本金		3,299,463	3,299,463
資本剰余金		3,936,873	3,936,873
利益剰余金		6,564,609	5,292,477
その他有価証券評価差額金		207,717	92,446
為替換算調整勘定		△21,192	△16,503
自己株式		△544,101	△89,204
<b>資本合計</b>		<b>13,443,370</b>	<b>12,515,553</b>
<b>負債、少数株主持分及び資本合計</b>		<b>16,149,535</b>	<b>15,412,607</b>

連結損益計算書

科目	期別	2005年 (2005年1月1日から 2005年12月31日まで)	2004年 (2004年1月1日から 2004年12月31日まで)
<b>1 売上高</b>		<b>15,171,785</b>	<b>13,812,759</b>
売上原価		8,834,974	8,187,291
売上総利益		6,336,810	5,625,468
販売費及び一般管理費		3,667,739	3,402,912
営業利益		2,669,071	2,222,555
営業外収益		76,762	65,679
受取利息		969	770
受取配当金		14,080	8,684
受取家賃		7,627	7,241
為替差益		25,788	4,630
特許係争和解金		—	15,500
雑収入		28,297	28,851
営業外費用		99,266	112,459
支払利息		4,645	4,115
売上割引		93,698	91,217
新株発行費		—	16,658
雑損		922	468
<b>2 経常利益</b>		<b>2,646,567</b>	<b>2,175,775</b>
特別利益		223	6,944
貸倒引当金戻入益		—	1,441
固定資産売却益		223	44
過年度修正益		—	5,459
特別損失		10,648	39,360
固定資産売却損		390	1,159
固定資産除却損		10,053	20,343
投資有価証券評価損		204	—
会員権売却損		—	17,857
税金等調整前当期純利益		2,636,142	2,143,359
法人税、住民税及び事業税		926,535	877,393
法人税等調整額		12,955	△54,834
<b>当期純利益</b>		<b>1,696,651</b>	<b>1,320,800</b>

(単位：千円)

POINT  
1  
売上高

台湾を中心としたアジア市場における自動試験装置の売上が堅調に推移したことにより、当期売上高は前期比9.8%増の151億71百万円と、3期連続で過去最高を更新しました。

POINT  
2  
経常利益

自動試験装置の売価の低下や創業70周年記念事業費の発生等がありましたが、経常利益は前期比21.6%増の26億46百万円と、3期連続で過去最高を更新しました。

※事業報告書の財務諸表については、千円未満は切捨てにて表記してあります。

連結剰余金計算書

(単位：千円)

科目	期別	2005年 (2005年1月1日から 2005年12月31日まで)	2004年 (2004年1月1日から 2004年12月31日まで)
<b>(資本剰余金の部)</b>			
資本剰余金期首残高		3,936,873	3,480,906
資本剰余金増加高		—	455,966
増資による新株の発行		—	455,966
資本剰余金期末残高		3,936,873	3,936,873
<b>(利益剰余金の部)</b>			
利益剰余金期首残高		5,292,477	4,371,488
利益剰余金増加高		1,696,651	1,320,800
当期純利益		1,696,651	1,320,800
利益剰余金減少高		424,519	399,811
利益配当金		380,019	366,311
取締役賞与金		40,000	29,000
監査役賞与金		4,500	4,500
利益剰余金期末残高		6,564,609	5,292,477

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

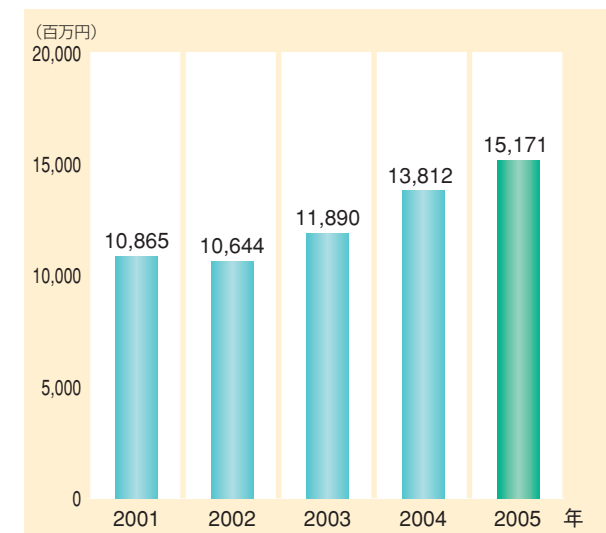
科目	期別	2005年 (2005年1月1日から 2005年12月31日まで)	2004年 (2004年1月1日から 2004年12月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー		1,830,402	1,982,549
3 投資活動によるキャッシュ・フロー		△1,491,002	△302,815
財務活動によるキャッシュ・フロー		△834,178	448,342
現金及び現金同等物に係る換算差額		12,038	△1,496
現金及び現金同等物の増減額		△482,739	2,126,580
現金及び現金同等物期首残高		4,406,746	2,280,166
現金及び現金同等物期末残高		3,924,007	4,406,746

POINT  
3

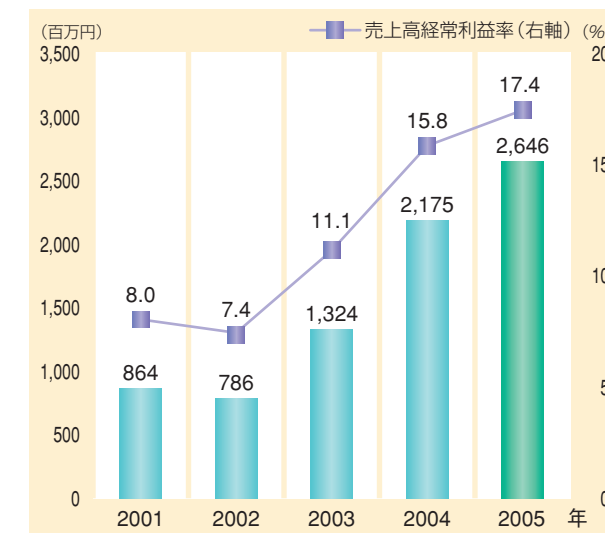
投資活動によるキャッシュ・フロー

14億91百万円の支出となっておりますが、これは新工場建設資金8億29百万円をはじめとする有形固定資産の取得額12億11百万円等によるもので、前期に対し11億87百万円の支出増となりました。

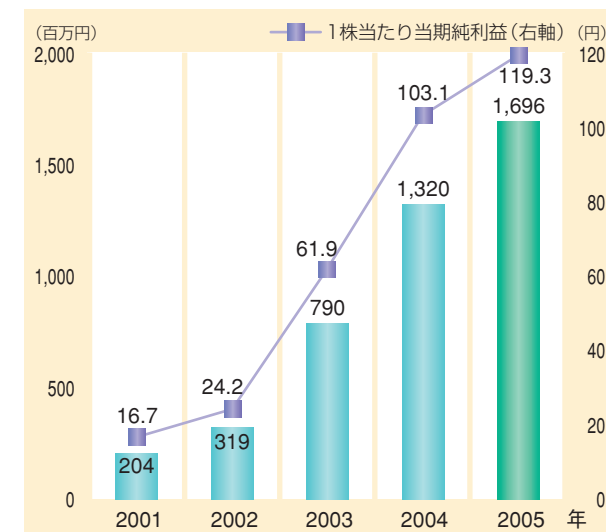
売上高の推移



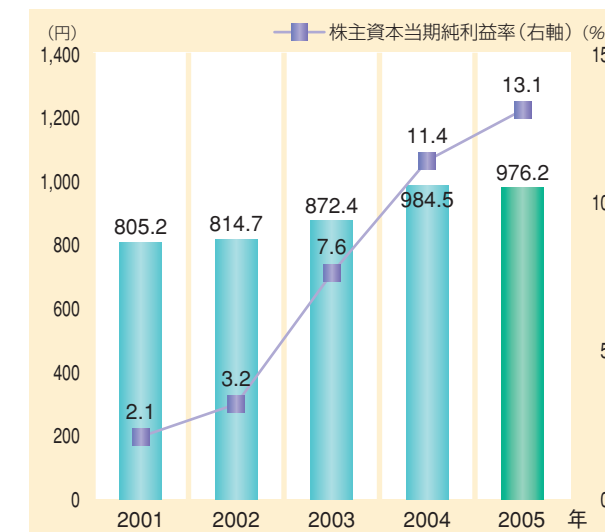
経常利益／売上高経常利益率の推移



当期純利益／1株当たり当期純利益の推移



1株当たり株主資本／株主資本当期純利益率の推移



貸借対照表

科目	期別	2005年 (2005年12月31日現在)	2004年 (2004年12月31日現在)
<b>(資産の部)</b>			
流動資産		8,069,966	8,298,644
現金及び預金		4,544,772	5,078,513
受取手形及び売掛金		1,957,321	1,690,393
たな卸資産		1,339,168	1,329,947
繰延税金資産		120,412	125,069
その他		109,278	74,891
貸倒引当金		△987	△170
固定資産		8,088,836	7,220,842
有形固定資産		6,090,937	5,505,952
建物及び構築物		2,725,831	2,876,748
機械装置及び運搬具		295,211	328,637
工具器具及び備品		659,049	740,998
土地		1,559,567	1,559,567
建設仮勘定		851,278	—
無形固定資産		368,148	185,526
ソフトウェア		365,116	182,494
電話加入権		3,032	3,032
投資その他の資産		1,629,749	1,529,363
投資有価証券		703,901	511,476
破産更生債権等		6,990	6,990
繰延税金資産		192,344	282,795
その他		733,574	735,106
貸倒引当金		△7,060	△7,006
資産合計		16,158,803	15,519,487

(単位：千円)

科目	期別	2005年 (2005年12月31日現在)	2004年 (2004年12月31日現在)
<b>(負債の部)</b>			
流動負債		1,590,377	1,686,421
買掛金		450,358	442,965
未払法人税等		513,980	541,064
賞与引当金		188,274	179,540
その他		437,764	522,851
固定負債		1,080,848	1,189,602
退職給付引当金		448,156	576,731
役員退職慰労引当金		463,400	457,800
その他		169,291	155,070
負債合計		2,671,225	2,876,023
<b>(資本の部)</b>			
資本金		3,299,463	3,299,463
資本剰余金		3,936,873	3,936,873
資本準備金		3,936,873	3,936,873
利益剰余金		6,587,624	5,403,884
利益準備金		505,000	505,000
任意積立金		2,008,250	2,009,553
当期末処分利益		4,074,373	2,889,331
その他有価証券評価差額金		207,717	92,446
自己株式		△544,101	△89,204
資本合計		13,487,578	12,643,463
負債・資本合計		16,158,803	15,519,487

損益計算書

科目	期別	2005年 (2005年1月1日から 2005年12月31日まで)	2004年 (2004年1月1日から 2004年12月31日まで)
売上高		14,653,246	13,373,192
売上原価		8,751,124	8,142,587
売上総利益		5,902,121	5,230,605
販売費及び一般管理費		3,373,447	3,119,417
営業利益		2,528,674	2,111,187
営業外収益		90,924	108,812
受取利息		2,261	2,768
受取配当金		14,080	8,684
受取家賃		23,527	23,081
受取賃貸料		2,400	2,400
受取手数料		21,363	19,613
為替差益		6,862	12,822
特許係争和解金		—	15,500
雑収入		20,430	23,942
営業外費用		97,141	111,043
支払利息		4,409	4,115
売上割引		91,810	89,802
新株発行費		—	16,658
雑損		922	468
経常利益		2,522,457	2,108,956
特別利益		223	7,153
貸倒引当金戻入益		—	1,650
固定資産売却益		223	44
過年度修正益		—	5,459
特別損失		10,401	39,360
固定資産売却損		390	1,159
固定資産除却損		9,806	20,343
投資有価証券評価損		204	—
会員権売却損		—	17,857
税引前当期純利益		2,512,279	2,076,749
法人税、住民税及び事業税		890,269	844,720
法人税等調整額		17,750	△56,374
当期純利益		1,604,259	1,288,404
前期繰越利益		2,596,786	1,722,747
中間配当額		126,672	121,821
当期末処分利益		4,074,373	2,889,331

(単位：千円)

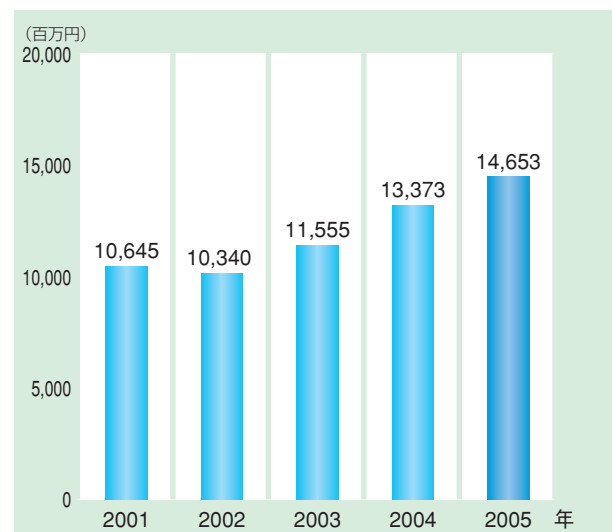
利益処分

(単位：千円)

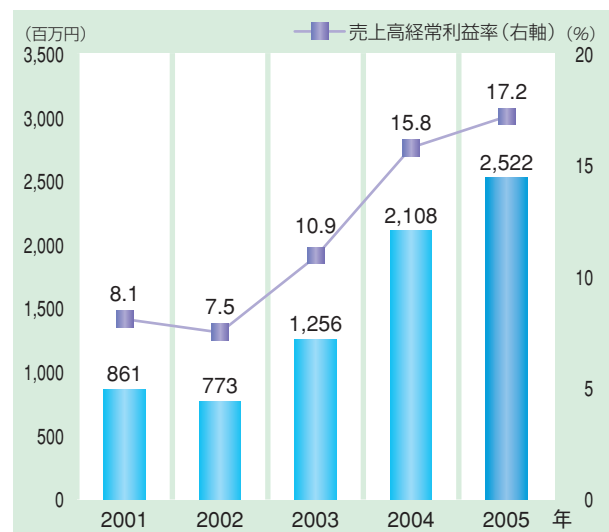
科目	期別	2005年	2004年
当期末処分利益		4,074,373	2,889,331
買換資産圧縮積立金取崩額		1,129	1,302
合計		4,075,502	2,890,633
これを次のとおり処分いたします。			
利益配当金		274,590 (1株につき20円00銭)	253,346 (1株につき20円00銭)
取締役賞与金		32,000	36,000
監査役賞与金		5,000	4,500
別途積立金		1,000,000	—
合計		1,311,590	293,846
次期繰越利益		2,763,912	2,596,786

(注) 2005年および2004年に、1株につき10円00銭の中間配当を実施いたしました。

売上高の推移



経常利益／売上高経常利益率の推移



会社概要 (2006年3月3日現在)

商号	日置電機株式会社
英文商号	HIOKI E. E. CORPORATION
創業	1935年(昭和10年)6月
設立	1952年(昭和27年)1月
商標	<b>HIOKI</b>
資本金	32億9,946万円
社員数	542名(2005年12月末現在、HIOKIグループ全体)
事業内容	電気計測器の開発・生産・販売
本社・工場	長野県上田市小泉81
営業所	東北・長野・北関東・東京・神奈川・静岡・名古屋・大阪・広島・福岡
連結子会社	日置フォレストプラザ(株)、HIOKI USA CORPORATION、日置エンジニアリングサービス(株)

役員 (2006年3月3日現在)

取締役

取締役 会長	日置 勇二
代表取締役 社長	吉池 達悦
取締役 専務執行役員	藤沢 政幸
取締役 技術担当	日置 秀雄

経営諮問委員

増島 勝	(元TDK(株)代表取締役専務)
友澤潤次郎	弁護士(元旭硝子(株)取締役副会長)
日置 恒明	日置電機(株)相談役
日置 勇二	日置電機(株)会長
吉池 達悦	日置電機(株)社長

監査役

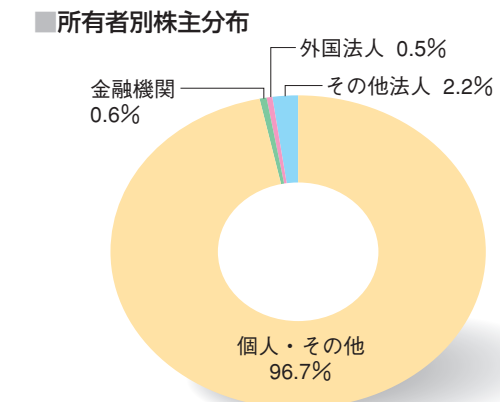
常勤監査役	宮下 富義
常勤監査役	佐藤 功
監査役	古畑 克巳
監査役	弓場 法

執行役員

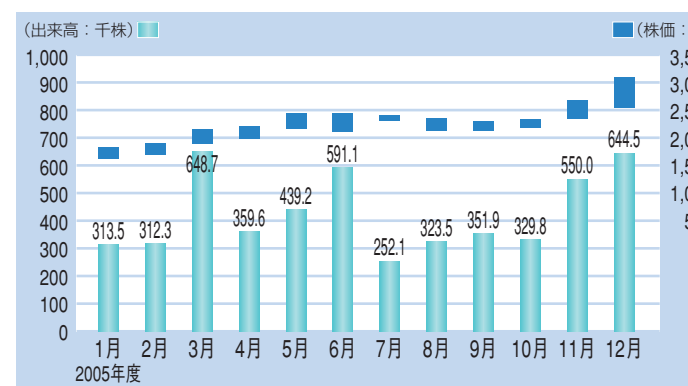
社長	吉池 達悦
専務執行役員	藤沢 政幸 (技術本部長)
執行役員	根岸 誠 (製造部長)
執行役員	田口 公明 (営業部長)
執行役員	手塚 清登 (技術本部 開発部長)
執行役員	細谷 和俊 (技術本部 ATE部長)
執行役員	水野 厚 (技術本部 FMI部長)
執行役員	田中 光喜 (品質保証部長)

- 1930 1935年 ・東京都港区で指示電気計器の製作始める
- 1940 1945年 ・戦火により長野県坂城町に移転
- 1946年 ・テストの第1号器発売
- 1950 1952年 ・資本金180万円で日置電機株式会社設立  
・アメリカ極東空軍の航空機用マルチテスタ（MIL規格）製造工場に指定
- 1960 1965年 ・VU計の量産始まる
- 1967年 ・通産省より輸出貢献企業に認定される
- 1970 1975年 ・内磁トートバンドの計器を自主開発および発売
- 1978年 ・電池式絶縁抵抗計に日本工業規格JISマーク表示許可
- 1980 1983年 ・クランプオンパワーハイテスタが省エネルギーセンター「優秀製品賞」、日本機械工業連合会「優秀省エネ機器賞」受賞
- 1990 1990年 ・上田市にHIOKIフォレストヒルズ新本社工場完成移転
- 1991年 ・株式店頭公開（現ジャスダック）
- 1992年 ・緑化優良工場として「緑化センター会長賞」受賞
- 1993年 ・ISO9001認証取得
- 1994年 ・日置フォレストプラザ株式会社設立
- 1996年 ・電解コンデンサの極性判別方法・装置が第21回日本発明大賞「池本発明功労賞」受賞  
・バッテリーハイテスタが電設工業展製品コンクール「関西電力社長賞」受賞
- 1997年 ・ISO14001認証取得
- 1998年 ・クランプオンパワーハイテスタが優秀省エネ機器「日本機械工業連合会会長賞」受賞  
・アメリカに現地法人HIOKI USA CORPORATION設立  
・緑化優良工場として「関東通産局長賞」受賞
- 1999年 ・日置エンジニアリングサービス株式会社設立
- 2000 2000年 ・台湾に合弁会社TKK HIOKI設立  
・シンガポール駐在員事務所開設
- 2001年 ・上海駐在員事務所開設  
・東京オフィス開設  
・アースハイテスタが電設工業展製品コンクール「関東電気保安協会理事長賞」受賞  
・東京証券取引所第二部上場
- 2002年 ・経営諮問委員会（アドバイザーボード）設置  
・中国に合弁会社HIKING TECHNOLOGY設立
- 2003年 ・東京証券取引所第一部上場
- 2004年 ・ふるさとの森づくり活動で「第6回信州エコ大賞」受賞
- 2005年 ・検相器が電設工業展製品コンクール「産業安全研究所理事長賞」受賞  
・財団法人HIOKI奨学・緑化基金設立  
・緑化優良工場として「経済産業大臣賞」受賞  
・屋内配線診断装置の開発で日本電気協会「第50回溢澤賞」受賞

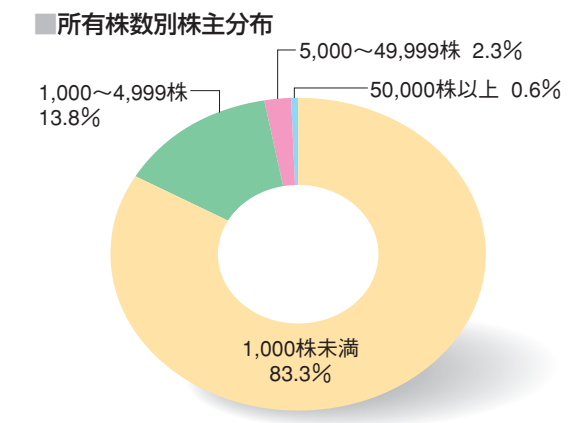
会社が発行する株式の総数	40,514,000株
発行済株式の総数	14,024,365株
株主数	6,154名
1991年	株式店頭公開（現ジャスダック）
2001年	東京証券取引所第二部上場
2003年	東京証券取引所第一部上場



■ 株価と出来高



※2005年8月19日に普通株式1株を1.1株に分割しました。



■ 株主メモ

決算期	毎年12月31日
定時株主総会	毎年3月
利益配当金株主確定日	期末配当金：毎年12月31日 中間配当金：毎年6月30日
1単元の株式数	100株
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先	〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-707-696（フリーダイヤル）
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社 全国本支店
上場市場	東京証券取引所第一部（証券コード 6866）